

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(気田小)学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 気田小としての教育目標に対しての取組みについて他の委員の方と様々な意見を出し合い課題も共有することができた。
- 校長から基本方針等について詳しく説明を受け、これからの時代を生き抜く児童に必要な資質・能力とは何か、学校だけでなく地域や家庭も一緒に育てる重要性を強く感じ考えることが出来た。これからもより深く熟議していきたい。
- 学校運営の当事者として学校の現状を知り、学校の教育目標だけでなく、学校教育で目指すもの等をしっかり理解するよう委員が様々な視点から積極的に意見を出し合い、学校
- 家庭・地域で「ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる子」について共有することが出来た。
- 学校側からの基本方針を聞くとともに委員の学校理解が一段と深まっている。人と人の関係が深まっていくことで相互理解が深まっていくことと感じている。近年、コロナ禍のために活動に制限が加わり、その機会が激減したことはとても悲しく思う。
- 学校教育についてお便りや「すみれの丘」、ブログ等様々なところに記載された内容を毎日のように目にするようになり、意識する機会が増えた。
- 他の委員さんから様々な考えを聞き、立場や年齢により感じ方が違い、視野が広がった。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 地域の方々にささえられて様々な活動が行えているが、地元について知るより具体的な行動につて熟議することが出来た。
- CSだよりの企画はたいへん良いと思う。
- 学校支援コーディネーターから計画や活動報告があり、熟議によりさらに発展したアイデアが出された。良い結果だったと報告があり、協議会としても有用感が高まった。
- 学校教育目標に向かって子供たちと一緒に育てるために、既存の教育活動の意義やねらい計画から評価までの流れを見直すことが大変役に立った。
- コロナ禍で実現できなかったことを今後どのように地域等で関わりながら子供たちにとって有効なものにしていくのか、どんなことが必要なのか熟議することができた。
- 気田小には素晴らしい体験活動がある。それに協力してくださる地域の方々がいる。この活動をより多くの地域の皆様に理解していただければ嬉しく思う。
- 以前より行ってきた活動に加え、新たに子供たちと地域の方々が繋がりを持つためにもどのような活動ができるかなど校長先生を中心に委員で意見を出し合うことができた。
- 行事のたびに「気田小コミスクだより」を発行していただき、実際に参加していなくても活動の様子が分かった。また、学区内の多くの場所に提示いただき、地域の方にも情報発信の良い手段だと思う。
- 地域の良さを知る取組として、委員の方の提案により、春野の自然に興味をもち、それに触れることができる活動を始めることになった。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 各委員の学校教育への理解が深まり、協議会の熟議にも馴染んできた。
- コロナ禍であったが、感染症対策を行いながら活動をすすめられた。
- 地域との関わりを深める、春野のよさを知るための活動ができた。
- 地元について理解を深めるためのより具体的な活動や地元の方々とのふれあい、日ごろの感謝を伝える活動を行いたい。
- 来年度も委員全員で意見を出し合い、教育活動の充実のために協議会の合議として意見をまとめることができるようにしたい。
- 子供たちがよりよい学校生活が送れることを目指して、委員の方々と協力して取り組んでいきたい。
- 協議会として意見をまとめ協議から協働へつなげたい。子供たちの学習や体力づくりそして課外活動など家庭や地域へとさらに発信し大きな輪になると良いと思う。
- 今まで、学校側から子供たちに活動を提案してきたが、年間に一つ程度は子供たちの希望に基づき、子供たちが企画に参加し、地域の人たちを交えてつくりあげる教育活動を進めることが出来れば素晴らしいと思う。
- 授業補助、花壇整備等、参加する方に変化がない。難しい部分もあると思うが、新しく参加していただける方の確保に課題があるのではと思う。
- 人材バンクに登録いただいた方をどんどん利用させていただき、実績を積みればもっと協力いただける方が増えるのではないかと思う。